

牛若丸

作詞作曲者不詳

0/3

1 京（はきょう）の上（の）五条（ごじょう）の橋
大（だい）のおとこの
弁慶（べんけい）は
長い薙（は）刀（た）なげ（な）は
牛若（ぎゃく）めがけ（け）て切り（き）かかる
ふりあげて

2 牛（ぎゅう）若（じやく）丸（まる）は飛（と）び退（ひ）（の）を投（な）げて
持（も）った扇（あふ）は来（き）てお（お）うぎ（ぎ）を
上（う）へあ（あ）が（が）つて手（て）を叩（たた）く
（たらん）かん（の）

3 前（まへ）やうしろ（の）右（みぎ）左（ひだり）
こ（こ）と思（おも）え（え）ば又（また）あ（あ）ち（ち）ら
燕（つばめ）のよう（な）な
早（はや）業（わざ）に
鬼（おに）の弁慶（べんけい）あ（あ）や（や）ま（ま）った

牛若丸

1

京（きょう）の
五条（ごじょう）
橋（はし）の上
大（だい）の
おとこの
弁慶（べんけい）は
長い薙刀（なぎなた）
ふりあげて
牛若めがけて切りかかる



牛若丸

2

牛若丸は飛び退（の）いて
持った扇（おうちぎ）を
投げつけて
来い来い来いと
欄干（らんかん）の
上へあがって
手を叩（たた）く



牛若丸

3

前やうしろや

右左（みぎひだり）

ここと思えば

又（また）あちら

燕（つばめ）のような

早業（はやわざ）に

鬼（おに）の弁慶

あやまった

